TOA Valve Engineering Inc.

各位

平成25年9月18日

上場会社名　東亜バルブエンジニアリング株式会社
代表者名　代表取締役　唐澤　裕一
コード番号　6466
上場取引所　東証市場第2部
本社所在地　兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番１号
問い合せ先　管理本部長　飯田　明彦
TEL 06(6416)1152

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日に公表した平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日から平成25年9月30日まで）を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

金額単位：百万円

平成25年9月期連結業績予想数値の修正（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円　銭
前回発表予想　(A)	7,700	▲ 750	▲ 700	▲ 1,100	▲ 471.10
今回修正予想　(B)	8,150	▲ 250	▲ 200	▲ 590	▲ 252.68
増減額　(B－A)	450	500	500	510	－
増減率　(%)	5.8%	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（平成24年9月期）	10,588	1,149	1,169	113	48.47

修正の理由

当連結会計年度の業績は、本年５月の業績修正開示以降さらに改善の方向にあって、売上高は80億円を超える想定となり、これに伴い赤字幅も縮小する見込みとなりました。

これは期初には想定していなかった原発向けシビアアクシデント対策用バルブなどの受注・売上や、固定費の圧縮を中心とした原価低減策などに加え、昨年春より実施しております、収益改善プロジェクトの「七本の矢」作戦による収益拡大策が奏功したものです。ただ、第３四半期までの連結業績（営業利益▲85百万円、経常利益▲36百万円、四半期純利益▲409百万円）から見れば、第４四半期に赤字が拡大することとなりますが、これは期末特有の費用増加と、たな卸資産（仕掛品、製品）の減少を織り込んだためで、特に、たな卸資産の減少傾向は、原発の停止により大型受注が全体的に激減し受注残高が減少する中にあっては今後ともしばらく続くものと予想され、短納期品の受注を拡大することで可能な限り操業度維持に努めてまいります。

なお、配当につきましてはこれまで通り未定の予想とさせていただきます。

以　上